

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
社会科学Ⅱ		公務員ビジネス学科／2年	2026／前期	講義
単位数または時間数		必修・選択必修・自由選択		担当教員
4単位（60時間）		必須		大賀崇宏（福山校）／篠原啓子
授 業 の 概 要				
高卒程度公務員試験に対応した、「政治」「経済」「社会」や時事問題について学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
高卒程度公務員試験1次教養試験での合格 高卒程度公務員模擬試験において50%以上の正解率				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
今回の授業内容を踏まえて教材を用いて復習する。				
回	テ ー マ		内 容	
1～2	政治1 民主主義の基本原理と制度		民主政治の基本原理、民主政治の思想、主要国の政治制度	
3～4	経済1 市場経済		需要と供給、市場の形態（独占・寡占）、現代の企業	
5～6	政治2 日本国憲法の原理と基本的人権		憲法の役割、新旧憲法の比較、基本原理、人権各論	
7～8	政治2 日本国憲法の原理と基本的人権		憲法の役割、新旧憲法の比較、基本原理、人権各論	
9～10	経済2 国民経済の流れ		経済循環、国民所得、景気変動、金融の仕組み、財政の仕組み	
11～12	経済2 国民経済の流れ		経済循環、国民所得、景気変動、金融の仕組み、財政の仕組み	
13～14	政治3 日本国憲法の統治機構		三権分立、国会、内閣、裁判所、地方自治	
15～16	政治3 日本国憲法の統治機構		三権分立、国会、内閣、裁判所、地方自治	
17～18	経済3 日本経済の発展		戦後日本経済史、産業構造の変化	
19～20	政治4 政治の諸問題		政党と圧力団体、選挙制度、マスメディア他	
21～22	経済4 国際経済の動向と経済協力		貿易と国際収支、外国為替、戦後の国際経済体制、地域的統合、開発途上国問題	
23～24	政治5 国際政治		国際政治の基本、国際連合、地域紛争他	
25～26	社会1 労働問題と消費者問題、社会保障、最近の法律事情		労働関係の諸制度・諸法、労働事情、消費者問題、社会保障制度の歴史、日本の社会保障制度、最近の法制定・改正	
27～28	社会2 人口問題・地球環境問題		世界の人口、日本の人口、医療問題、地球環境問題、新たな取り組み、公害防止	
29	期末試験		期末試験（実戦問題、過去問演習）	

回	テ ー マ	内 容		
30	期末試験解説			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
『オープンセサミ①政治・経済・社会』		課題・レポート 確認テスト 期末試験	30.0% 20.0% 50.0%	【準備学習】 次回の授業内容を 踏まえてテキスト やプリントを用い て予習する

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態
人文科学Ⅱ	公務員ビジネス学科／2年	2026／前期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
4単位（60時間）	必須		篠原 啓子
授 業 の 概 要			
■授業の進め方			
①講義			
②記述式の確認プリントで授業のキーワードを復習			
③5択形式の問題にあたり、知識が確実に身に付いているかの確認			
授業終了時の到達目標			
幅広く基礎を理解し、公務員試験合格を目指す			
①公務員としての業務を遂行するに当たって必要な一般知識の習得			
②多岐にわたる公務員試験の出題範囲に対応するため、計画的かつ効率的な学習を行う			
③繰り返し問題にあたることで、実際の解答のコツをみつけ、一次試験合格のための自信を培う			
実務経験有無	実務経験内容		
時間外に必要な学修			
今回の授業内容を踏まえて教材を用いて復習する。			
回	テ ー マ	内 容	
1	【世界史】	四大文明、古代ギリシャ	
2	【世界史】	古代ギリシャ、古代ローマ	
3	【世界史】	古代ローマ、中世ヨーロッパ	
4	【日本史】	縄文・弥生・古墳時代、律令国家	
5	【日本史】	律令国家、院政と武士	
6	【世界史】	東ヨーロッパ世界、十字軍	
7	【世界史】	中世都市の成立、教会勢力の衰退、英仏の戦い、ルネサンス、宗教改革	
8	【世界史】	宗教改革、宗教戦争、地理上の発見	
9	【日本史】	鎌倉幕府の成立、執権政治と元寇、建武の新政と南北朝	
10	【日本史】	室町幕府と守護大名、応仁の乱と下剋上	
11	【日本史】	安土・桃山時代、幕藩体制	
12	【日本史】	幕藩体制	
13～14	【日本史】	三大改革、田沼時代、大御所時代、幕府権力の崩壊	
15	【日本史】	幕府権力の崩壊	
16	【世界史】	市民革命①～④	

回	テ ー マ	内 容		
17	【世界史】	市民革命①～④		
18	【世界史】	市民革命①～④		
19	【世界史】	市民革命①～④		
20～ 21	【日本史】	明治時代		
22	【日本史】	大正時代、昭和時代		
23	【世界史】	ヨーロッパ諸国の東進、第一次世界大戦		
24	【世界史】	第二次世界大戦前のアジア、世界恐慌、第二次世界大戦		
25	【世界史】	第二次世界大戦の終結、諸会談、冷戦、第二次世界大戦後のアジア、ソ連の雪どけ、キューバ危機、第三世界		
26	【世界史】	冷戦の終結、ベルリン問題、現代世界の動向		
27	【世界史】	中国史【古代】		
28	【世界史】	中国史【中世】		
29	【世界史】	中国史【近代】		
30	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
オリジナルプリント		期末試験 確認テスト 課題・レポート	50.0% 20.0% 30.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
人文科学Ⅱ（地理）		公務員ビジネス学科／2年	2026／前期	講義
単位数または時間数		必修・選択必修・自由選択		担当教員
4単位（60時間）		必須		篠原 啓子
授 業 の 概 要				
以下の１、２を繰り返し行うことで、地理分野の頻出事項を確実に暗記し、公務員試験の得点源とすることが目的。				
１．講義（科目担当作成分のプリントを使用）を受けた上で復習、暗記をし、知識のインプットを行う。				
２．記述問題、５択問題の答練にあたり、知識のアウトプットを行う。				
授業終了時の到達目標				
・幅広く基礎を理解し、公務員試験合格を目指す				
・繰り返し問題にあたることで、一次試験合格のコツを身につける				
・多岐にわたる公務員試験の出題範囲に対応するため、計画的かつ効率的な学習を行う				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
今回の授業内容を踏まえて教材を用いて復習する。				
回	テ ー マ		内 容	
1～2	Lesson1：自然環境①		(1)大地形 ・安定陸塊、古期造山帯、新期造山帯 (2)小地形 ・侵食平野（準平原、構造平野） ・堆積平野（沖積平野、洪積台地） ・海岸の地形（離水海岸、沈水海岸）	
3～4	Lesson1：自然環境②		(2)小地形 ・特殊な海岸地形 ・特殊な地形（カルスト地形、氷河地形、乾燥地形、火山地形） (3)大気・海流・水	
5～6	Lesson2：気候・土壌①		(1)気候要素 ・気温の較差、風 (2)ケッペンの気候区分 ・熱帯、乾燥帯、温帯、亜寒帯、寒帯	
7～8	Lesson2：気候・土壌②		(2)ケッペンの気候区分 ・雨温図、ハイサーグラフ (3)土壌 ・成帯土壌、間帯土壌	
9～10	Lesson3： 民族・人口・交通・地図		(1)地図 ・正積図法、正角図法、正方位図法 (2)人口 ・人口、人口動態、人口問題 (3)民族 ・主な人種問題、主な先住民族、各国の民族問題	

回	テ ー マ	内 容		
11～ 12	Lesson4：世界の農林水産業	(1) 農牧業 ・ 自給的農業、商業的農業、企業的農業 ・ 主な農産物 (2) 各国の農業 ・ ヨーロッパ、中国、アメリカの農業の特徴について		
13～ 14	Lesson4：世界の農林水産業 Lesson5：世界の鉱工業	(3) 林業、水産業 (1) エネルギー資源 ・ 石炭、石油、天然ガス、電力 (2) 鉱産資源 ・ 鉄鉱石、非鉄金属		
15～ 16	Lesson6-1：アジア地誌	(1) 中国 地勢、気候、農業、民族、鉱工業 (2) 東南アジア 地勢、気候、農業、ASEAN、各国の特徴、鉱工業		
17～ 18	Lesson6-1：アジア地誌 Lesson6-2：アフリカ地誌	(3) 南アジア、西・中央アジア 地勢、気候、農業、民族・宗教、鉱工業 ～アフリカ～ 地勢、気候、民族・内乱、農業、鉱工業		
19～ 20	Lesson8-1：南北アメリカ地誌	～アングロアメリカ、ラテンアメリカ～ ・ 地勢、気候、人種・民族、農業、鉱工業、各国の特徴		
21～ 22	Lesson8-2：オセアニア地誌	～オーストラリア、ニュージーランド～ 地勢、気候、農業、鉱工業（産業）		
23～ 24	Lesson7-1：ヨーロッパ地誌	～ヨーロッパ～ 地勢、気候、民族・宗教、農業、鉱工業、EU、各国の特徴		
25～ 26	Lesson7-2：ロシア地誌	～ロシア～ 地勢、気候、農業、民族紛争、CIS、鉱工業		
27～ 28	Lesson9, 10：日本の自然・貿易、産業	(1) 日本の自然・貿易 ・ 日本の気候、人口、領土問題、主な河川・平野・盆地、貿易相手 (2) 日本の産業 ・ 農業、林業、水産業、鉱工業について		
29～ 30	確認テスト			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・ オリジナルプリント		期末試験 確認テスト 課題・レポート	50.0% 20.0% 30.0%	【準備学習】 次回の授業内容を 踏まえてテキスト やプリントを用い て予習する

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態
自然科学Ⅱ	公務員ビジネス学科／2年	2026／前期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
4単位（60時間）	必須		大南 朋子
授 業 の 概 要			
公務員1次試験出題範囲の生物・地学分野を学ぶ。 インプット（講義）とアウトプット（頻出問題や例題に数多くあたること）で実力を身につけていく。			
●授業の進め方			
①講義			
②各自で覚え直しと復習を行い、次に行う問題に対応できる実力を身につける			
③試験と同様の5択問題にあたることで実力アップを図る			
授業終了時の到達目標			
公務員1次試験に対応できる実力が身につく。			
実務経験有無	実務経験内容		
時間外に必要な学修			
回	テ ー マ	内 容	
1～ 2	生物 1. 生体の作り	◎細胞の基本構造とその働き ○細胞膜の働き	
3～ 5	地学 1. 地球の内部 2. 地震	○地球の形と重力・引力・遠心力 ◎地球の層構造 ◎地震（P波とS波） ◎プレート ◎褶曲と断層	
6～ 7	生物 3. 遺伝 （2. 細胞分裂・生殖 ※要点のみ）	○遺伝の法則について ◎遺伝子の本体 ◎タンパク質合成 ○遺伝子の発見 △細胞分裂（2. 細胞分裂・生殖 より）要点のみ	
8～ 10	地学 3. 岩石・火山	○岩石 ◎火成岩の分類と特徴 ◎堆積岩の分類と特徴 ◎変成岩の分類と特徴 ◎マグマと火山活動	
11～ 12	生物 4. 代謝③ 酵素	◎酵素の性質・種類 ◎消化器官と消化酵素	
13	地学 4. 地球の歴史	◎地層と地層の新旧 ◎地質時代と化石	
14～ 15	生物 4. 代謝① 異化（呼吸・発酵）	◎代謝とエネルギー（ATP） ◎呼吸（好気呼吸と嫌気呼吸）	
16	地学 5. 大気の構成	◎大気の組成 ◎気圏の分類と性質 ◎大気の循環 △湿度・熱収支（要点のみ）	

回	テ　　マ	内　　　　　　容		
17～ 18	生物 4. 代謝②　同化（光合成・窒素固 定等）	◎炭酸同化（光合成、光合成細菌、化学合成細菌） ◎窒素同化と窒素固定		
19～ 20	地学 6. 天気	◎高気圧と低気圧 ◎前線の名称と特徴 ◎日本を囲む4つの気団の名称と特徴 ◎日本の四季と天気図 ◎風の種類と特徴		
21～ 24	生物 6. 恒常性と調節 （5. 刺激と反応　※要点のみ）	◎体液（血液・組織液・リンパ液）の特徴とはたらき ◎肝臓・腎臓のはたらき ◎自律神経による調節 ◎ホルモンの特徴 ◎免疫 ◎人の神経系とニューロン		
25～ 26	地学 8. 太陽系 （7. 地球・月・太陽　※要点の み）	◎太陽系の惑星の特徴 ◎ケプラーの法則 △天体の日周運動（ポイントのみ） △地球の自転と公転（ポイントのみ） △地軸の傾きと季節変化（ポイントのみ） ◎太陽の特徴 ○月の特徴		
27	生物 8. 生態系・進化 （7. 植物の反応・動物の行動 			

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態
判断推理Ⅱ	公務員ビジネス学科／2年	2026／前期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
6単位（90時間）	必須		松元賢一（高松校）／篠原啓子
授 業 の 概 要			
本科目は、公務員試験の最重要科目のひとつに位置づけされる科目であり、公務員試験全体に共通する課題発見力、論理的思考力、課題解決力の本質を学ぶ科目である。また、課題解決手法の習得を通じて問題の本質を見極めることに関心が高まると同時に他領域への学習意欲が高められることをねらいとする。			
授業終了時の到達目標			
①出題文から課題を適切に読み取り、②解決手法を試行することで、③出題者が求める解決に辿りつくというプロセスを身につけることを目標とする。また、具体的成果として判断推理分野の正答率6割以上を目標とする。			
実務経験有無	実務経験内容		
時間外に必要な学修			
演習用の問題集や模試問題などを用いた累代の演習			
回	テ ー マ	内 容	
1～3	授業概要説明 論理	授業の進め方および論理と集合の基礎	
4～6	集合・人数	ベン図、キャロル図、線分図の3つの解法を習得する。	
7～9	発言推理（うそつき）	発言内容に「うそ」が含まれる発言推理の問題において3つのパターンをマスターする。	
10～12	対応関係	判断推理における主要分野である対応関係について、対応表の書き方をマスターする。	
13～15	順序関係 1	順位、体重、身長、年齢、時刻など順番に並べて考える問題について、数直線やブロック化技法にて解けるようになる。	
16～18	順序関係 2	順序が変動する問題や、大小関係がなく「差」が与えられたときの解法と時刻と時計のずれに関する解法を理解する。	
19～21	試合・勝敗	試合におけるリーグ戦とトーナメント戦における問題解法をマスターする。	
22～24	位置・方位	マンションや駐車場、座席の位置関係に関する問題演習と東西南北に関する方位に関する解法をマスターする。	
25～27	手順	天秤ばかりに関する問題、油分け算、ハノイの塔、定員ありの移動問題。	
28～30	道順・位相	最短経路の道順解法や一筆書き問題に関する演習。	
31～33	展開図	立体図形の展開図に関する問題、サイコロに関する問題。	
34～36	軌跡	直線や円周上を図形が転がる際に特定の点が描く軌跡を求める。	
37～39	空間図形の分割	少立方体を集めてできた立体に色を塗ったり、串刺ししたり、平面で切断した際の断面に関する問題演習。	
40～42	多面体・切断・回転・空間図形の投影	正多面体における図形の特徴や図形の図形の切断面・回転体。	

回	テ ー マ	内 容
43	確認テスト	これまでに学習したテーマからの術第二による確認テストの実施。

回	テ　　マ	内　　　容		
44～ 45	総まとめ	演習、解説		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
①オリジナルプリント		期末試験 確認テスト 課題・レポート	50.0% 20.0% 30.0%	【事前学習】 次回の授業内容を 踏まえてテキスト やプリントを用い て予習する。

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態
数的推理Ⅱ	公務員ビジネス学科／2年	2026／前期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
4単位（60時間）	必須		大南 朋子
授 業 の 概 要			
本科目は、公務員試験の最重要科目のひとつに位置づけされる科目であり、公務員試験全体に共通する課題発見力、論理的思考力、課題解決力の本質を学ぶ科目である。また、数学的な要素が占める割合が高い分野であり、他の科目に求められている数学的な処理の土台を固めることもねらいとする。			
授業終了時の到達目標			
①出題文から条件を適切に読み取り、②適切な数式化を実行することで、③出題者が求める解決に辿りつくというプロセスを身につけることを目標とする。また、具体的成果として数的処理分野の正答率6割以上を目標とする。			
実務経験有無	実務経験内容		
時間外に必要な学修			
演習用の問題集や模試問題などを用いた類題の演習			
回	テ ー マ	内 容	
1～2	速度問題の基本	①通過算②旅人算	
3～4	速度問題の応用①	①仕事算②ニュートン算	
5～6	速度問題の応用②	①時計算②流水算	
7～8	割合①	①比②増減	
9～10	割合②	①濃度②仕事算	
11～12	場合の数と確率①	①場合の数②順列③組合せ	
13～14	場合の数と確率②	①確率②期待値	
15～16	整数①	①倍数と約数	
17～18	整数②	①さまざまな整数問題	
19～20	整数③	①数列・規則②魔方陣など	
21～22	図形①	①角度②三角形	
23～24	図形②	①図形の比と相似②円と扇形	
25～26	図形③	①立体②展開図	
27～28	資料解釈	①図表②グラフ	
29	確認テスト	確認テスト	

回	テ ー マ	内 容		
30	自主学習			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
オリジナルプリント		出席率 確認テスト	50.0% 50.0%	授業において紹介 する解法を確実に 理解し、演習の時 間に類題をしっか り解いてマスター してください。

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態
プラスワンⅡ	公務員ビジネス学科／2年	2026／前期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位（30時間）	必須		平子 健吉
授 業 の 概 要			
公務員試験における「文系知識」「理系知識」「文系知能」「理系知能」の各分野においてプラス1点を目指し、ACTSで開発した動画教材を受講する。また理解できなかった問題（模試問題等）をグループワーク形式で解決していく。			
授業終了時の到達目標			
公務員試験の頻出分野における学生の苦手意識を払しょくし、模擬試験のボーダーラインを突破する。グループワークを通じ、クラス全体のレベルアップを図るとともに、コミュニケーション力や他者への説明力を身につける。			
実務経験有無	実務経験内容		
時間外に必要な学修			
今回の授業内容を踏まえて教材を用いて復習する。			
回	テ ー マ	内 容	
1	文系知識攻略①と問題解決	ACTS文系知識（社会・人文科学）①の受講＋問題演習	
2	理系知能攻略①と問題解決	ACTS理系知能（数的・判断）①の受講＋問題演習	
3	理系知識攻略①と問題解決	ACTS理系知識（自然科学）①の受講＋問題演習	
4	文系知識攻略②と問題解決	ACTS文系知識（社会・人文科学）②の受講＋課題演習	
5	文系知能攻略①と問題解決	ACTS文系知能（文章読解系）①の受講＋問題演習	
6	理系知能攻略②と問題解決	ACTS理系知能（数的・判断）②の受講＋問題演習	
7	文系知識攻略③と問題解決	ACTS文系知識（社会・人文科学）③の受講＋課題演習	
8	理系知識攻略②と問題解決	ACTS理系知識（自然科学）②の受講＋問題演習	
9	理系知能攻略③と問題解決	ACTS理系知能（数的・判断）③の受講＋問題演習	
10	文系知能攻略②と問題解決	ACTS文系知能（文章読解系）②の受講＋問題演習	
11	文系知識攻略④と問題解決	ACTS文系知識（社会・人文科学）④の受講＋課題演習	
12	理系知能攻略④と問題解決	ACTS理系知能（数的・判断）④の受講＋問題演習	
13	理系知識攻略③と問題解決	ACTS理系知識（自然科学）③の受講＋問題演習	
14	文系知識攻略⑤と問題解決	ACTS文系知識（社会・人文科学）⑤の受講＋課題演習	
15	文系知能攻略③と問題解決	ACTS文系知能（文章読解系）③の受講＋問題演習	

回	テ　　マ		内　　　　容	
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	ACTS開発教材	課題・レポート	100.0%	【準備学習】事前課題が指示された分野は、事前に解いておく。

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態	
公務員総合演習Ⅱ	公務員ビジネス学科／2年	2026／前期	演習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
14単位（190時間）	必須		篠原 啓子／大南 朋子	
授 業 の 概 要				
模擬試験を通し、実力と実践力を身につける。				
授業終了時の到達目標				
模擬試験を通し、公務員1次試験合格の実力を身につく さまざまなパターンの模試を通し、時間配分やペース配分が身につく 数多くの問題にあたることで、試験傾向に慣れることができる				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
今回の内容を踏まえて復習を行う。				
回	テ ー マ	内 容		
1～95	模試	①模擬試験の実施 ②自己採点 ③見直し →問題を抜粋の上、解説		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
【実務教育出版】 学内模試14回分、初級本科 公務員模擬試験6回分、公開模試（公安系および高卒一般） 【東京アカデミー】 公開模試4回分 【ウイネット】対策模擬試験（120分）2回		確認テスト 課題・レポート	50.0% 50.0%	※模試の締切や公務員採用試験スケジュールの状況により、順序・内容を変更する場合あり

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態
公務員総合対策Ⅱ	公務員ビジネス学科／2年	2026／後期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
5単位（100時間）	必須		篠原 啓子／大南 朋子
授 業 の 概 要			
【前半】公務員一次試験対策 模擬試験を通し、公務員一次試験合格の実力を身につける			
【後半】 ・面接カード作成 ・各種面接対策（合格箇所に応じた個別面接対策、集団面接・グループディスカッション・プレゼンテーション面接対策）			
授業終了時の到達目標			
公務員一次試験合格、面接試験突破			
実務経験有無	実務経験内容		
時間外に必要な学修			
今回の内容を踏まえて復習を行う。 事前に面接準備を行う。			
回	テ ー マ	内 容	
1～ 24	模試（過去問題）	①模擬試験の実施 ②自己採点 ③見直し →問題を抜粋の上、解説	
25～ 50	面接対策（面接カード作成）	面接対策（個別および全体）	
教科書・教材		評価基準	評価率 その他
・各種模試、過去問題 ・面接対策に必要な資料		確認テスト 課題・レポート	50.0% 50.0% ※模試の締切や公務員採用試験スケジュールの状況により、順序・内容を変更する場合あり

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態
ビジネス対策Ⅱ	公務員ビジネス学科／2年	2026／後期	実習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位（140時間）	必須		篠原 啓子
授 業 の 概 要			
・社会人として必要なビジネスマナー（言葉遣いの基本・電話応対・訪問マナー・名刺交換等のロールプレイング、ビジネス文書・席次等の基本知識）および常識（社会人としての心構え等）を学ぶ。 ・実務に必要なパソコン（Excel、Word）の基本操作を学ぶ。			
※公務員採用試験の状況（追加募集や第3回目試験等）に応じて筆記試験対策を行う場合もある。 ※公務員試験合格状況に応じて面接対策を行う場合もある。			
授業終了時の到達目標			
社会人としてのふるまいや行動を普段から意識し、「知っている」から「できる」への到達。			
実務経験有無	実務経験内容		
時間外に必要な学修			
回	テ ー マ	内 容	
1～70	ビジネスマナー演習・パソコン演習	・ビジネスマナー対策 ・パソコン基礎（Excel & Word）	
教科書・教材		評価基準	評価率
必要に応じてプリント配布、テキスト使用		課題・レポート 確認テスト	50.0% 50.0%
			【事前学習】 次回の授業内容を踏まえてテキストやプリントを用いて予習する。